

令和7年度後学期 学生が選ぶ文理ティーチング・アワード

結果
発表

令和7年度後学期に実施した「学生が選ぶ文理ティーチング・アワード」受賞科目は以下のとおりとなりました。本アワードは、学生の皆さんから「知的に刺激を受け、学びが深まった」と感じた授業を推薦してもらい表彰する制度です。後学期の履修登録の際に参考にしてください。

科目区分

科目名（担当教員名）及び主な推薦理由

総合教育科目

総合研究1～8（文理的思考のすすめ～知のスクランブル～）

（伊佐野 龍司,市原 一裕,岩堀 史靖,大川内 隆朗,大澤 正彦,岡 隆,上岡 隼人,鴨澤 小織,金 愛蘭,外川 徹,長綱 啓典,間篠 剛留,山口 義枝,山崎 祐人,李 婷）

「高校生や他学科の学生とテーマについて話し合いをする時間が各回に必ずあり、毎回新しい発見があった」

多文化共生社会を生きる（朴 源花）

「多角的視点や多くの分野の知識を学ぶことができる」

外国語教育科目 （英語）

英語4（一條 祐哉）

「音読やディスカッションなどが頻繁に行われ、主体的に学ぶことができた」

英語4（大内田 優子）

「英語を淡々としたものにせず、生活に即したものを題材に扱っていた」

英語8（桐井 誠）

「授業がとても楽しく、受けてる人達の意欲を引き出していた」

英語2（ヒントン ロバート）

「全体的に細かい英語や英単語の説明がしっかりとされ、意欲的に授業内容に取り組むことができた」

外国語教育科目 （英語以外）

ドイツ語2（平野 達志）

「頻繁に学生同士の発音練習や会話形式での演習を行う実践形式の講義。学生のドイツ語能力を基礎から作るための良い授業形式」

中国語2（山本 優子）

「授業が分かりやすくゆっくり進み、課題やテキストの問題を解く時も教室を回って一人一人丁寧に教えてくれた」

基礎教育科目 （健康・スポーツ教育科目）

健康・スポーツ教育実習1～5（アダプテッドスポーツ）（佐藤 紀子）

「アダプテッドスポーツに関してはほとんど知らなかったが、どの競技も楽しく実施でき、改めてスポーツの楽しさを実感」

健康・スポーツ教育実習1～5（ボディメイクエクササイズ）（清水 花菜）

「スポーツが苦手な人やあまり体力がない人でも取り組むことができ、体力を向上することができる」

基礎教育科目 （コンピュータ科目）

受賞科目なし

哲学科

哲学課題研究2（三平 正明）

「わかりやすい授業と意見交換のできる空気感のある授業」

美学特殊講義2（高橋 陽一郎）

「美学という概念的で想像の難しいテーマを、ゴシック建築という実在するものを題材にすることで思想をわかりやすく理解できた。先生も質問を歓迎してくれ、とても興味深い学びができた」

史学科

日本史基礎実習2（古川 隆久）

「学生を主体的に学習させるという授業。履修者の質も高く、発表もしっかり対策しなければならず、授業満足度が高い。それに対する教授のフォローなども完璧」

学問の扉（古川 隆久）

「学生間で歴史について議論する点がとても面白く、話し合う能力や新たな知見も得られる授業」

国文学科

基礎演習2（佐久本 佳奈）

「発表内容に対して、学生の考えを尊重した上で足りない部分を補足してくれた。授業を受けやすい環境が整っていた」

基礎演習2（田中 ゆかり）

「調査の準備段階から実際の発表まで、手厚いサポートを受けることができ、今後のゼミ活動に生かせるような技能を多く習得できた」

中国語中国語文化学科

中国語学演習4（歐 孝明）

「広東語を学びながら、広東や台湾についての知識をたくさん知ることができた」

アジアの文化と社会2（三澤 真美恵）

「主体性をもって受講できる授業。台湾について学べる貴重な機会」

英文学科

英語学演習2（一條 祐哉）

「予習の量も適切で、予習で分からないことを授業で分かるように解説してくれるので、学習に対する意欲が湧き出した」

英語意味論演習2（一條 祐哉）

「シラバスに沿って授業が行われ、評価基準が明確であり、個人ワークもグループワークも時間配分よく組まれている授業」

※科目担当教員は敬称略、科目区分内は氏名の50音順で掲載しています。また推薦理由は原文の主旨を損なわない範囲で、要約及び表記の調整を行っております。
※あらかじめFD委員会で定めた選定基準（推薦数等）を適用した結果、該当科目が選出されなかった科目区分については受賞科目なしとなっております。

科目区分

科目名（担当教員名）及び主な推薦理由

ドイツ文学科	ドイツ語学入門 2（山崎 祐人） 「ドイツ語と日本語の比較や、身近な言葉や表現がなぜそのように使われるのかを学ぶことができ、易しく面白い講義」 卒業予備研究 2／卒業研究 2／卒業論文（横山 淳子） 「ディスカッション等があって、色んな意見が聞ける授業。フィードバックが毎回発表後に行われる点も良い」
社会学科	社会学特殊研究Ⅲ（石岡 丈昇） 「柔軟にさまざまな知見を得ることができる内容で面白く、課題への取り組みも授業に反映され、とても授業に取り組みやすい」 社会学各論（杉谷 武信） 「複雑で一見すると理解が難しい内容を、先生の体験や学生の身近な経験をもとに考えることで、実感できることを学べる講義。学びを自ら進めたい、知的好奇心をくすぐられる講義」
社会福祉学科	学問の扉（諏訪 徹） 「質問しやすいよう促してくれた。授業資料も作り込まれてわかりやすかった。特に文章を書くスキルが高まった」 障害者福祉論（吉田 仁美） 「多角的な視点から障害者福祉を学べる。説明がわかりやすく、先生と学生とのキャッチボールも感じられるとても良い授業」
教育学科	ジェンダーと教育（久保 京子） 「女性やマイノリティに関する問題や生きづらさについて学べる」 教授学習論（中橋 雄） 「教員の仕事やICT活用、特別支援に関して、細かく考えることができた。自分の中で教員という仕事の具体性が高まった」
体育学科	スポーツ実習（水泳）（野口 智博） 「触らない教え方を知ることができ、とても有意義。他の競技でもこうした教え方が必要になる時はあると思った」 コーチング論（評定スポーツ）（水島 宏一） 「器械運動について詳しく知ることができた。」
心理学科	心理学ゼミ 2／心理学ゼミ 4（坂本 真土） 「学生主体となった授業形式で、授業を通してコミュニケーション力やプレゼン力など様々な能力を身につけることができた」 心理学ゼミ 2／心理学ゼミ 4（松浦 隆信） 「学生の希望を取り入れながら授業を進めてくれる。自然と学習意欲も高まり、学生同士での意見交換も活発なため、自分にはない視点も多く取り入れることができた」
地理学科	アフリカ地誌（森島 済） 「アフリカ文化を人文と自然の両方の視点から学べる。アフリカ全域について、授業ごとに分けて触れていたことが良かった」 人文地理学の基礎 2（吉野 裕） 「人文地理学の入り口となる科目。いろいろな分野に興味関心を広げることができた」
地球科学科	地震学（小原 一成） 「授業内容が面白く、日本では頻繁に地震が起こるため、地震に関する知識をもっと知ることにはとても役に立つ」 気圏科学（三隅 良平） 「捉えにくい気象現象も絵を用いて分かりやすく説明されていた」
数学科	数学教育実践論（長尾 篤志） 「数学との距離を縮めるために教員が生徒に行う数学教育の在り方を説く授業。数学を学ぶ上で必要不可欠な、定義や公式の先にある数学の面白さを知ることのできる授業」 微分積分学 2（含演習）（山浦 義彦） 「数学をただ計算する機能として扱うのではなく、その概念を本質的に理解するための授業が展開され、学問を探究したくなる」
情報科学科	学問の扉（大澤 正彦） 「授業は難しく、多くの人は面倒と感じることが多いが、確実に自身のスキル獲得や成長に繋がる講義」 情報科学実習 4（宮田 章裕） 「Linuxコマンドの使用方法やラズベリーパイの使用方法について学びが深まり、今後IT系に進む人たちにとってはタメになる授業」
物理学科	受賞科目なし
生命科学科	受賞科目なし
化学科	受賞科目なし
コース科目	教職実践演習（中・高）（土屋 弥生） 「アクティブラーニングを強く意識した取り組みが組み込まれ、フィードバックもあり、課題も多すぎず、授業としての完成度が高い」 教職実践演習（中・高）（野内 頼一） 「担当の先生からのフィードバックをもらうことができ、大学だけにとらわれず人生の経験としても役に立つことが多かった」 教職実践演習（中・高）（水上 晃実） 「ディベートを授業で行ったのは初めてで、学びを深められた」

※科目担当教員は敬称略、科目区分内は氏名の50音順で掲載しています。また推薦理由は原文の主旨を損なわない範囲で、要約及び表記の調整を行っております。
※あらかじめFD委員会が定めた選定基準（推薦数等）を適用した結果、該当科目が選出されなかった科目区分については受賞科目なしとなっております。

文理学部FD委員会